

転倒災害防止の取り組み

2022年 6月 22日

株式会社 不二家 平塚工場

過去の災害発生事例

- 階段昇降中、同僚から呼ばれ振り向いた際に足を踏み外し転倒
- 清掃中、床が濡れていたために転倒
- 設備の脚(固定具)に躓いて転倒
- 階段を2列に並び会話をしながら昇降中に踏み外し転倒

1. 安全教育訓練の実施（意識向上・ルール必守）

従業員教育（月1回以上）

声掛け運動実施

2. 従業員の作業負担の軽減

作業動線、作業姿勢、作業環境見直し、保護具管理

3. 新ラインの導入前リスクアセスメント

製造元に行き導入前にリスクアセスメントを実施

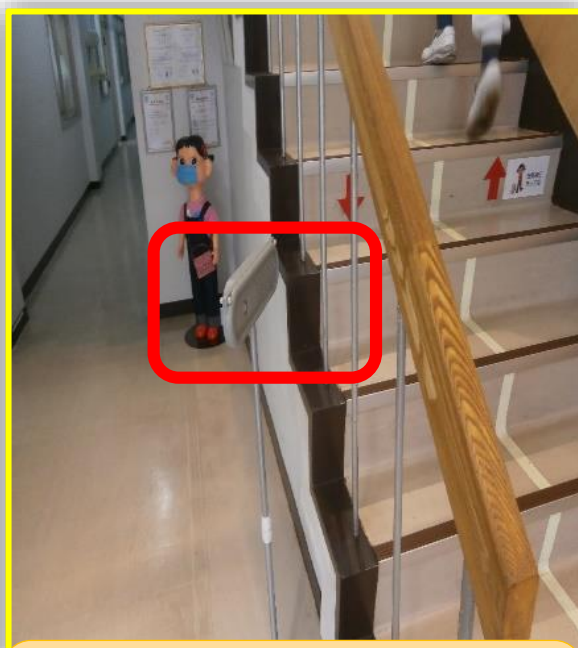
4. 他社との安全情報共有

1. 安全教育訓練の実施（意識向上・ルール必守）

安全を意識させて習慣化させる



当番制での声掛け



自動音声による注意喚起



従業員教育

2. 従業員の作業負担の軽減

(作業動線、作業環境、保護具の見直し)

作業動線・環境の見直し①

改善前



- ・踏み台の昇降
- ・躓きや転倒へ繋がる
- ・検品の姿勢が悪い
- ・作業者の負担がある

改善後



- ・踏み台の昇降なし
- ・躓きや転倒のリスクが軽減
- ・検品者の作業姿勢が良くなり作業負担の軽減が出来た。
- ・省人化に繋がった。

2. 従業員の作業負担の軽減

(作業動線、作業環境、保護具の見直し)

作業動線・環境の見直し②



全ての階段に手摺を設置
⇒階段での転倒を防ぐ



作業階段滑り止めの設置



防滑仕様

床の選定
⇒滑りやすい環境
の転倒を防ぐ

2. 従業員の作業負担の軽減

(作業動線、作業環境、保護具の見直し)

保護具の管理③



靴を清潔に保つ



作業環境に適した靴

靴底を清潔に保つことで、転倒リスクが軽減

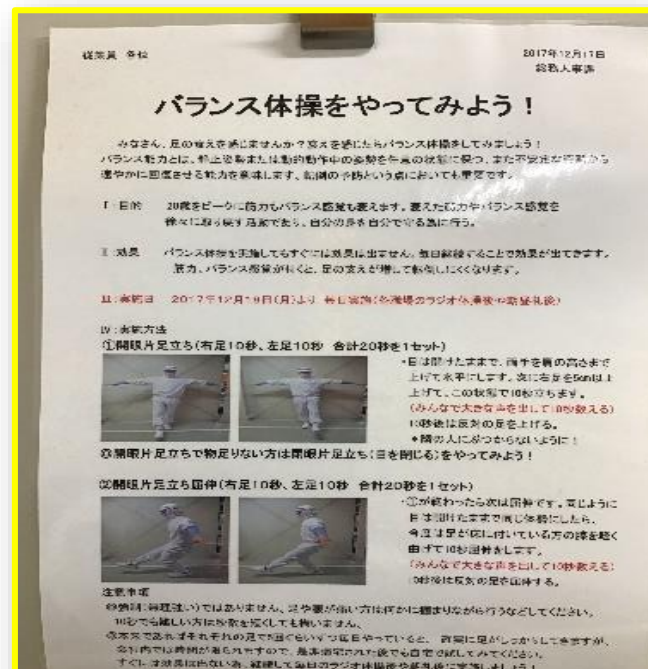
【その他の取り組み】

従業員の健康管理



骨密度測定

自分を知ってもらう取り組み



バランス体操

3. 新ライン導入時リスクアセスメントの強化

- ・ 労働安全・食品安全 リスクアセスメント実施
⇒ 設備導入前に設備の製造元でリスクアセスメント
- ・ 設備導入時に再度リスクアセスメント実施
⇒ カバーの設置状況、作業動線の確認



導入前・稼働前
リスクアセスメント



見える化

4. 地域企業と安全活動の共有

食料品製造業企業と行政（労働基準監督署）
災害削減の為に安全活動情報共有化

他社安全取り組み

<p>2改善報告</p> <p>改善① 【改善内容】 冷蔵庫の扉を開ける際、床が濡れている為、滑って転倒する危険がある。そのためスリッパ防止シートを貼り付けた。</p>		
<p>改善② 【改善内容】 長靴の底がすり減っていたり、穴が開いており、薬剤や熱湯が入り込んでケガをする可能性がある。今回の点検で3足あったので、定期的に点検交換することとした。</p>		
<p>改善③ 【改善内容】 炊飯室奥の通路の途中で排気ファン操作盤が飛び出しており、顔をぶつけてケガをする可能性がある。そのため、トラ柄のクッション素材で角を覆った。</p>		
<p>【今後の課題】</p> 	<p>この4月19日(月)から新しい機械を導入された。今までベルトコンベアーの下に隠れていた機械の支柱が、大きくなり、作業者が作業をあられた際や製品切り替え時に足を引っかけてケガをする可能性がでてきました。対策として床にトラテープを貼ったり、作業者に注意喚起を実施しています。今後、もっと有効な対策がないか検討する予定です。</p>	

<p>※ビスケッ1課・3号オープン 3号オープン仕込み室から避難する 場合、誘導灯を増設した方が 良い、新規で新設した。 (1/4指摘⇒1/17改善完了)</p>		
<p>改善②【改善内容】 ※キャンディ課・ポップW 化粧箱が直角CVでカバーを開 けずに横から手が入るためカ バーを延長した。 (2/2指摘⇒2/12改善完了)</p>		
<p>改善③【改善内容】 ※ビスケッ1課・4号オープン コンベア下に回転体があり、巻 き込まれる危険性がありカバ ーを設置した。 (2/2指摘⇒2/20改善完了)</p>		
<p>改善④【改善内容】 ※ビスケッ2課・5号オープン 分配コンベア最後尾のエッジ部 分がもぎ出しのため危険。カ バーを設置した。 (2/2指摘⇒2/24改善完了)</p>		

- **全員で取り組むことが大事**
- **常に安全教育や声掛けを行い習慣化させる**
- **作業環境を把握して現場の声を聴く**
- **適した保護具を用意する**
- **自分の健康状態を知ってもらう**
- **事前に危険な場所を改善する**